

ETF2008 (European Triode Festival) に参加して

道守宏州

ヨーロッパの 自作オーディオの祭典

オランダ中部の片田舎、Biezen mortelで開催されたETF2008 (European Triode Festival, 08年12月4日～7日)に参加する機会を得たので、その体験を報告させていただきます。2000年8月にデンマークで初めて開催されたETF2000から数えて9回目となる今回の参加者は73名、国別では、ドイツ、オランダ、フランス、デンマークからの参加者が目立ちました。

多くの参加者は各国から作品を満載した車に相乗りし、ロングドライブして会場へやってきます。他大陸からの参加者は経済不況のせいか北米の3、4名と日本からの私だけでした。ETFをひとことで表せば、ヨーロッパの自作オーディオマニアによる趣味人の祭典と言えます。

自作のパワーアンプ(直熱3極管が多いがD級アンプもあり)、プリアンプ、CDプレーヤー、ターンテーブル、SPシステムなどが出品展示されました。決められたテーマによるシュートアウト(コンテスト)、レクチャー、オークション、生バンド演奏、フリーマーケットなどがプログラムされ、お酒を飲みながら全員が3泊4日で楽しめます。

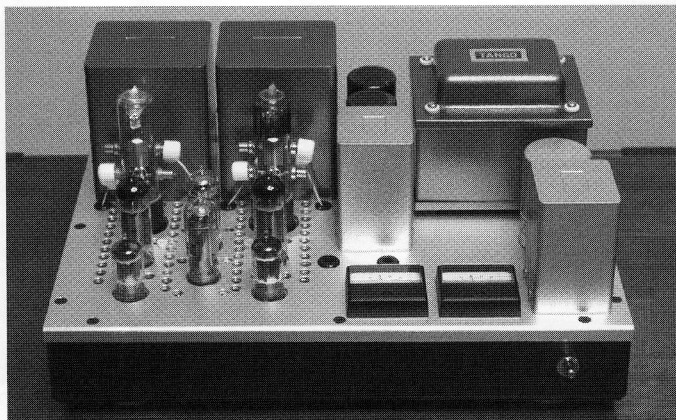
参加者の中には、ガレージメーカーの主催者、メーカー技術者、また出版関係者などオーディオを生業としている人たちも何割か含まれます。またdiy Audio Forumなどネットで活躍する大御所も見受けられました。

他のオーディオショーとの相違点は、営業活動を認めず、一般のビジター客もインフォーマルな雰囲気を壊すと言う理由で許可しません。事前にオーガナイザーに申請して認められた会員のみ、3泊4日で参加することができます。費用は食事、振込み手数料込みで295ユーロ、4万円弱です。毎年参加者は80名前後で、大半がリピーターのため、公募はありません。

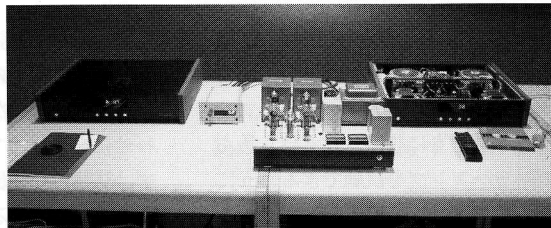
私の場合もオーガナイザーである、Guido Tent氏に直接メールを送り、出席を認められました。その際履歴書代わりにホームページ(英文)を添付したところ、ゼロバイアス送信管アンプの製作例は過去に発表されていないとのことでレクチャーを依頼されました。

8025Aシングルの 試聴とレクチャー

たぶん初めての日本人ということもあったかもしれませんが、レベルの高い会員を前に1時間余にわたるプレゼンテーションを行うことに緊張しましたが、始めてみれば10年間試行錯誤したテーマであり、なんとか無事終了できました。また、プレゼンテーションの中で解説した5機種のアンプの1台、8025Aアンプを試聴してもらえたことはよかったです。

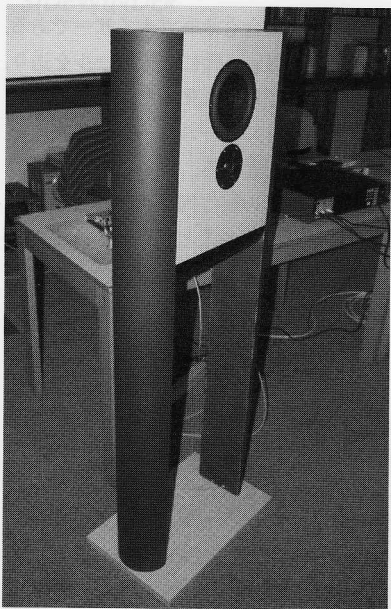


筆者製作の8025Aシングルステレオアンプ(12W×2)。プレゼンテーションしたアンプの1台を実際に試聴してもらったことは最良の説明となる



8025Aアンプでアルテックホーンシステムをドライブ
左:テントラボ製CDプレーヤー
右:テントラボ製CDプリメインアンプ

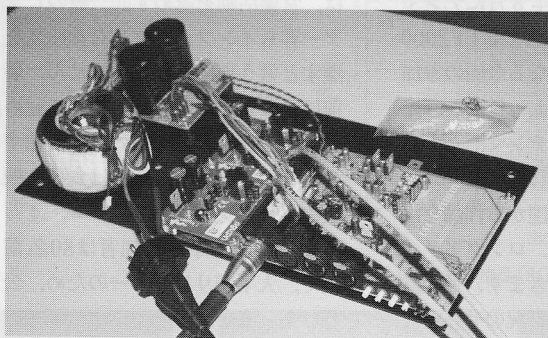
礼拝堂に設置されたアルテック
ホーンシステム



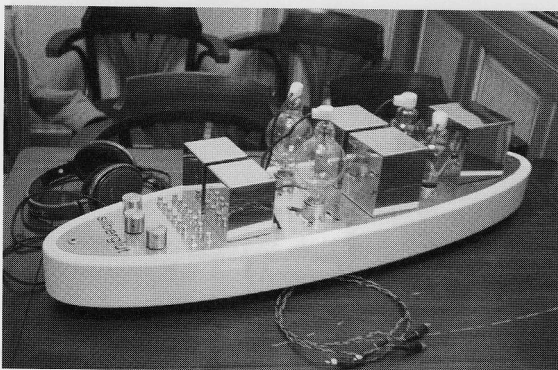
サウンドプロセッサー／シュートアウトに
使用されたSPシステム&デジタルアンプ



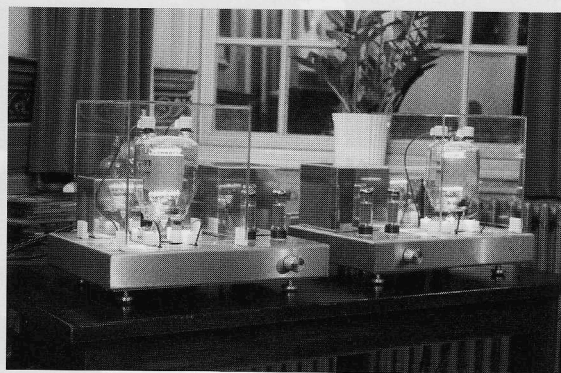
フランスグループ
の展示室



デジタルアンプ
(ピーク100W出力)



100TH プリアンプ 866Aによる整流



833A シングルアンプ

元修道院の会場には礼拝堂として使われていたメインホール(幅10m, 奥行き20m, 高さ10~15m)があり, アルテックホーンシステムがテントラボ製のCDプレーヤー, プリアンプとともに設置され, 持ち込んだパワーアンプを試聴できるようになっています。8025Aシングルステレオアンプ(12W×2)を接続し, 鮫島有美子の『日本の歌』を掛けたところ, 自宅より透明感のある素晴らしい歌声が鳴り渡り, その瞬間に16kgのアンプをオランダまで運び

込んだ苦勞が吹き飛びました。

不要な残響もなく, 少し高い所から聞こえる不思議な音の良さは, 礼拝堂の容積とその建築構造, レンガ積みの壁と頑丈な木造屋根の組み合わせにあるようです。8025Aアンプは試聴した会員の評価も高く, スイスに嫁入りする次第となりました。

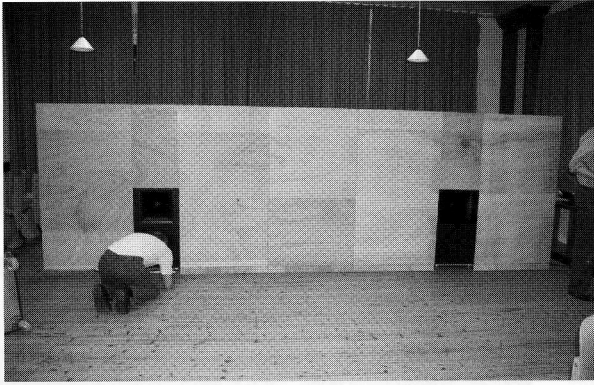
他のイベントも 堪能した4日間

ヨーロッパ勢はそれぞれ国別に展示室を構えてデモンストレーション

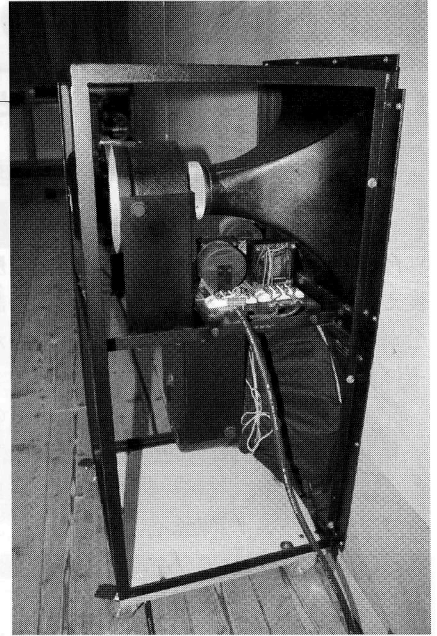
していました。詳細はETF公式サイトの写真を参照願います。

3階には, レクチャー, オークション, シュートアウトを行った図書館があり, 部屋の後部には補修の手が入っていないオイロダイン, クラックフィルム製SPシステムがバツフルプレート付きで設置してあります。

シーメンス製アンプでドライブするこの2ウエイシステムは狭帯域ですが日常聴けない, ゆったりとした高貴な音を体験させてくれました。

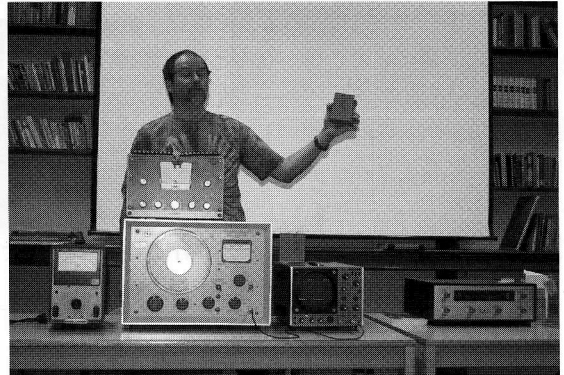


3Fの図書館に設置されたオイロダイン



クラングフィルム製 2ウェイSPシステム

オイロダインをドライブするシーメンス製アンプ



オークションを仕切るMorgan Jones氏

今回のシュートアウトのテーマは、サウンドプロセッサーです。パワーアンプとプリアンプの間に入れ、より良い変化があるかを皆で挙手により採点します。結論は何も入れない状態がベストと出て大笑いでした。

さて、初めてのホームページ立ち上げ、持参するアンプの製作など、ETF2008に参加する準備期間として半年ほど掛かりました。スカイプ仲間の大橋氏からETF常連のPete

Millet氏（アメリカ人の彼は仕事で頻繁に来日する）を紹介され、今回は彼とデュッセルドルフで落ち合い、レンタカーでドイツ、ベルギーのビール醸造所を飲み歩きながら会場入りすることとなりました。途中から加わったMorgan Jones氏（英）もETFの常連で、今回もフォノモーターに関するレクチャーを行い、オークションの司会も務めた人気者です。

オークションの途中、キャンデーを配るサンタクロースと魔女？

最後にこの場を借りて、出席を快諾し、レクチャーの機会まで与えてくれたGuido Tent氏、ガイド役をお願いしたPete Millet氏、そして英文ホームページの立ち上げ、レクチャー原稿作成など、全面的な支援をいただいた、船橋、新津、高柳各氏に深く感謝のお礼を申し上げます。（愛知県名古屋市）

ETFWebsite
<http://www.triodefestival.net/>
 ETF2008写真集
<http://www.triodefestival.net/index.php?page=etf-2008-photos>
 ETF2008プレゼンテーション
<http://www.triodefestival.net/index.php?page=etf-2008-presentations>